

第 1 回都市交通協議会 議事概要

日時

平成 22 年 1 月 13 日（木） 午前 10:00～12:00

場所

刈谷市役所 7 階 701 会議室

出席者

会長及び委員 計 18 名（欠席 1 名） オブザーバー 1 名 事務局 8 名 その他

出席者 3 名

議事

- (1) 協議会の運営について
- (2) 刈谷市における都市交通の現状
- (3) 刈谷市の都市交通ビジョンについて
- (4) 意見交換
- (5) その他

主な指摘事項と対応等

- (1) 協議会の運営について
- (2) 刈谷市における都市交通の現状

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p>交通戦略は、住宅とか商業とか福祉とか、市政の幅広い分野にかかわってくるが、他の分野の施策との関連も検討されていくのか。</p> <p>また、刈谷市は定住自立圏の中心市ということで宣言をされているが、近隣市町との連携について、今回のビジョンなり戦略の策定の中でどういう方向で反映していくのか。</p>	<p>他の施策との整合については、この場の意見をお預かりしながら、他の部局と調整できる部分については調整していく予定である。</p> <p>2 点目の近隣市町との連携については、基本的には企画部局で調整させていただいているが、この会議の中でも交通のあり方がかかわってくる部分もあるので、先ほどと同様に内部でお預かりしながら、内部で調整を図らせていただきたいと思います。</p>
<p>定住自立圏について、簡単に説明していただきたい。</p> <p>この件について、次回に簡単で結構なので資料を提供していただきたい。</p>	<p>定住自立圏については、2 月 14 日に関係する首長が集まって最終調整をして調印をする。4 月 1 日から協定の内容をチェックして、1 年かけてビジョンをつくって、平成 24 年 4 月から施行、展開していく計画になっている。</p> <p>その中の項目としては、医療連携とか都市交通、公共施設連絡バス等の乗り入れなどがある。東浦町は既に刈谷豊田総合病院と刈谷駅の方へ乗り入れており、知立市は</p>

	<p>環境組合、安城市は東刈谷駅に乗り入れを行っている。そういった交通関連や公共施設利用の連携の他には、観光の関係だが、東浦町とは於大の方、知立市とはカキツバタの関係もある。また教育の関係についても項目を挙げて、来年度にかけて調整をしていくという形になっている。</p>
<p>バスの利便性向上の市民ニーズが高いということだが、それは民営バスに対する要望であるのか、もしくは公共施設連絡バスに対する要望が強いのか教えていただきたい。</p>	<p>刈谷駅から愛教大に行っている名鉄バスがあるが、そちらではなく、公共施設連絡バスの拡充ということだと思う。平成 22 年度に市民や利用者の方に対してアンケートを実施したが、路線の拡大とか増車といった利便性の向上に関する意見が多く挙げられた。</p>
<p>恐らく公共施設連絡バスが市域全体から見たらまだ部分的だということで、要望が高いのは、そういうサービスを受けていない方から「うちにも来てくれよ」といった要望なのではないか。</p>	<p>それも要望の 1 つとして挙げられている。その他には、朝夕拡張したが、まだ使い勝手が悪いとか、最低 1 時間に 1 本ずつ運行してほしいとか、切りがない。今限られた資源の中でやっているのだから、こちらの手の届かないところで多分要望が出ていると思う。</p>
<p>今のバスの話だが、無料にこしたことはないと思うが、有料でも採算がとれて、なおかつ自家用車の人が公共バスに乗って CO2 を削減するような方法はないのか。</p>	<p>それは大きな課題である。各町で、コミュニティバスを走らせているが、料金とか、運行本数とか、どこも悩みながらやっている。刈谷市の 1 つの答えとして今やっているが、それが正しい答えなのかというのはだれにもわからない。こういった検討事項も交通戦略の中に含まれると思うので、これから議論していきたい。</p>
<p>買回り品の地元購買率が大幅に低下しているということだが、刈谷市の場合、中心市街地の商業が衰退しているということが久しく言われている。この問題の本質は、人々が周辺の市町のショッピングセンターに移動しているのか、逆に、中心市街地には来るが、そのまま刈谷駅から名古屋へ行ってしまっているのかによって</p>	<p>コンパクトシティないし集約型のまちづくりという形で、今回の都市計画マスタープランからまちづくりの仕方自体が変わってくるということで、この交通計画自体、コンパクトシティ、集約型都市構造を実現すべく手法として考える必要があり、総合計画にもうたわれているまちづくりの考え方を中心に考えていきたい。</p>

<p>違うし、商業自体の問題でもあるが、まちとにぎわいという言葉の中に商業のことが全然書いていない。</p> <p>コンパクトシティ的な住みやすさを駅周辺で求めていくのか、あるいは中心市街地での商業のにぎわいの復活を求めていくのかということも、買回り品の転換率と中身とかも含めて、考えをお伺いしたい。</p>	<p>刈谷市の場合、東浦町のイオンに行っているのは確かな話であり、東浦町の情報もないので、今回は、周りの動向も入れ、また報告をさせていただきたいと思う。</p>
<p>人々が駅周辺へ来ているのか、駅は通過点で名古屋方面へ行ってしまおうのかは違うということについて、ご意見あればお願いしたい。</p>	<p>資料3の10ページを見ていただくと、日ごろ利用している、あるいはバスで利用したい施設の上位6施設があるが、必ずしも商業施設へ行っているわけではなさそうということで、1番は刈谷豊田総合病院、2番の刈谷駅は恐らく乗り継ぎの利用になる。それから中央図書館、その次にアピタが来ており、まさにご指摘のように、どのエリアをまちなかとしてとらえるのかということとも絡むが、今のアンケートで一番多いのは病院であると言える。</p> <p>ただ、刈谷市の場合は駅の近くに大規模な企業があり、呼ばなくても人が集まってくる状況にあるので、そういうのも含めてどう活用していくのか、交通としてどう支援していくのかは、非常に大きな課題であると考えている。</p>

(3) 刈谷市の都市交通ビジョンについて

主な意見
<p>にぎわいという目標からいったときに、わっと集めなければにぎわいができないのか、さっき言った近隣の企業でもにぎわっているのではないかと、いろいろなにぎわいをつくるための方法論はいろいろあるので、それもいろいろ議論して、交通だけでにぎわいをつくり出すものでもないで、その辺はいろいろと関連する計画も考えてやっていきたいと思う。</p>
<p>先ほど副会長からタイミングとして愛知県の都市計画マスタープランとあったが、私どもでも刈谷市を西三河都市計画区域という広いエリアの区域の中心の1つとして位置づけている。そのマスタープランでも、国の答申にもあったが、集約型都市構造とか環境負荷の小さいまちづくりを県でもうたっている。</p> <p>先ほど具体的に商業のにぎわいか人の住む中心なのかという、集約型都市構造を目指すのかというのは、多分両方である。それは恐らく市民アンケートとかからも出てくると思いますが、刈谷市の総合計画や都市マスでも、恐らくそういうふううたってあると</p>

思う。それを施策でどういうふう位置づけていくか、どういうふうに関連していくかをこの中でやっていけばいいと思う。

例えば先ほどのバスの話でも、よくあるのが交通と商店街の活性化で、公共交通のバスに乗ると、まちバスとか有料の場合もあったりするが、商店街の買い物で優遇されるとか、いろいろな施策をミックスして、企業の皆さんや自治会の皆様がこの場にいるので、アイデアを出して、人の住む中心だし、商業もにぎわうまちを目指してやっていくのが、この場であると思う。ちょっと前まで刈谷市は、全国的にも余りよくない例で紹介される場合が多かったのをご存じの方もいるかもしれない。今まさに計画を立てようとしており、刈谷市はポテンシャルが非常にあるので、このポテンシャルを強みに変えて、いい計画ができればいいと考えている。

今のことに触れると、刈谷市の中心市街地は、昔は個人の商店がたくさんあって、名鉄三河線の刈谷市駅の新栄町、広小路、銀座は、昔はまだ大型の店舗はなかったので、周辺の東浦町からも来たし、高浜市からも、知立市からも来て、大変にぎわっていた。しかしながら、大型スーパーができたことによって、先ほども出てきたように東浦町に大型商業施設ができたことで、ますます個人の商店は地盤沈下してシャッター通りということで、某先生が刈谷市のその部分を指して、シャッター通りで商業の地盤沈下という言葉を使い、かなり有名になった。

これは非常に難しい話で、都計法の関係も、例えば、人が住む場所がないから市街化調整区域を拡大市街化によって住宅地とか、また工場も既存の市街地では当然できないし、環境の問題を考えれば、当然農地をつぶして工場どうだという話もあり、最近の都計法の考え方は、やはり中心市街地の方にもう一回戻るといふ感じである。刈谷市についても極力現状の市街地の中、また生産緑地が平成4年に出て、刈谷市も市街地に生産緑地が残っており、代がかわることで相続等があると、かなりまとまった農地があるので、それを転換しながら、むやみに農地をつぶさない方向を考えている。ただ刈谷市も、これから税収も増やすため、優良な企業等を誘致するという事も同時並行に考えている。

今述べたことについては十分検討した中で、都市計画マスタープランも考え、市の総合計画も考えていく。したがって、その辺の資料をもらいながら、この計画に生かしていきたいと思っている。

(4) 意見交換

委員(国交省中部運輸局)より【交通基本法について】の説明

委員(国交省中部地方整備局)より【都市・地域総合交通戦略の概要】の説明

その他

・専門部会について

交通ビジョン検討専門部会の設置と部員の選任：承認

・次回の開催について

交通ビジョン検討専門部会：2月中旬

第2回刈谷市都市交通協議会：3月中旬

・閉会